

# 人間総合科学研究群(体芸)

前期\_体育学学位プログラム

前期\_ニューロサイエンス学位プログラム

前期\_スポーツ・オリンピック学学位プログラム

前期\_芸術学学位プログラム

前期\_デザイン学学位プログラム

前期\_世界遺産学学位プログラム

3年制博士課程\_ヒューマン・ケア科学学位プログラム

3年制博士課程\_パブリックヘルス学位プログラム

※ 選考方法を確認してください。

科目の申請にあたっては、開設授業科目一覧の「申請条件」欄にかかわらず、ホームページ掲載の「選考方法について」を参照し、選考方法、面接までの流れを確認してください。

出願前に必ず教育組織に連絡し、面接日時等を確認してください。

学位プログラム名	受入有無	選考方法	面接者	面接日時（春学期）	面接日時（秋学期）	留意事項	連絡先
ヒューマン・ケア科学学位プログラム（3年制博士課程）	有	書類審査及び面接	授業担当教員	随時行う	随時行う	出願書類を提出する前に事前連絡をすること	029-853-2591
パブリックヘルス学位プログラム（3年制博士課程）	有	書類審査及び面接	授業担当教員	随時行う	随時行う	出願書類を提出する前に事前連絡をすること	029-853-2591
ニューロサイエンス学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び面接	学位プログラムリーダー	本人と打ち合わせの上、決定	本人と打ち合わせの上、決定	出願書類を提出する前に事前連絡をすること	029-853-2999
ニューロサイエンス学位プログラム（博士後期課程）	無						
スポーツ医学学位プログラム（3年制博士課程）	無						
体育学学位プログラム（博士前期課程）	有	面接	授業担当教員	随時行う	随時行う	履修目的を明確にすること	tg-taiikugaku#@un.tsukuba.ac.jp (#@#を@に置き換えてください)
スポーツ・オリンピック学学位プログラム（博士前期課程）	科目により受入れ有	書類審査	-	-	-	-	-
体育科学学位プログラム（博士後期課程）	無						
コーチング学学位プログラム（3年制博士課程）	無						
芸術学学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び面接	授業担当教員	随時行う	随時行う	履修目的を明確にすること	art_design_adm#@un.tsukuba.ac.jp (#@#を@に置き換えてください)
芸術学学位プログラム（博士後期課程）	無						
デザイン学学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び面接	授業担当教員	本人と打ち合わせの上、決定	本人と打ち合わせの上、決定	出願前に学位プログラムリーダーの承諾を得ること	art_design_adm#@un.tsukuba.ac.jp (#@#を@に置き換えてください)
デザイン学学位プログラム（博士後期課程）	無						
世界遺産学学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び科目により面接	授業担当教員	本人と打ち合わせの上、決定	本人と打ち合わせの上、決定	出願書類を提出する前に事前連絡をすること	info#@heritage.tsukuba.ac.jp (#@#を@に置き換えてください)
世界遺産学学位プログラム（博士後期課程）	無						

体育学学位プログラム(博士前期課程)

領域科目(健康体力学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATP8J3	スポーツ医学基礎論特講I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	月4	5C404	渡部 厚一、竹越一博、中田 由夫、小崎 恵生、菅澤 威仁	スポーツ医学(内科系)の基礎として、健康の維持・増進および疾患の予防・治療における運動の効果について解説する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)

領域科目(コーチング学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATP9H1	バスケットボールコーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	水2 水1.2	5C504	吉田 健司、池田 英治	複雑なバスケットボールの競技特性について言及する最新の内外のスポーツ科学・トレーニング科学等の諸々の知見を援用しながら、バスケットボール競技のコーチングを、(1) 競技力の構造、(2) コーチの思想・倫理論(フィロソフィ、ディンプリン)、(3) チームマネジメント論、(4) 体力論(エネルギー系体力の内実)、(5) トレーニング論I(期分け、トレーニング構成)、(6) トレーニング論II(最適トレーニング)、(7) 技術・戦術論I(基礎技術、個人戦術)、(8) 技術・戦術論II(グループ戦術、チーム戦術)、(9) 学習・指導論(練習の多様性、文脈干渉効果)などの多角的視点から検討する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP9J1	ハンドボールコーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	木2 木3.4		會田 宏、藤本 元、山田 永子	国内外における文献の精読を通して、ハンドボールのコーチングに関する基礎理論および応用理論について学習する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP9K1	サッカーコーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	木3 木3.4	5C513	中山 雅雄、小井 土 正亮	サッカーコーチに求められる資質である論理的思考とコミュニケーション能力を高めること、修士論文作成に向けての科学的手法によるサッカーのコーチングに関する問題解決能力を高める。サッカーの指導に必要な具体的な問題を自ら設定し、それに関する内外の文献資料を広く収集する。そして、自らのテーマに関して口頭で発表し、発言能力を高める。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP9M1	ラグビーコーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	火2 火・木2		古川 拓生	授業は演習形式とし、ラグビーコーチングに関する様々な文献・映像の検討と討論を通して、基本的な知識の習得と各自の研究課題の明確化を図ることを目的とする。授業では、最初に様々なゲームパフォーマンス分析の手法について学ぶとともに、実際の分析手法を用いてゲーム構造に関する理解を深める。次に分析ツールを利用したデータ収集と解析を行い、パフォーマンスの評価法について学習する。最後に先行研究を元に各自で設定したコーチングやトレーニングに関する課題に対してデータの収集と検討を行い、実践知の習得を図る。	教室:体育学系棟B202 対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP9N1	ラケットバドミントンコーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	火3 火3.4	5C301	川村 卓、吹田 真士、奈良 隆章、三橋 大輔、野中 由紀	野球・卓球・テニス・バドミントンなどそれぞれの種目固有の特性を学ぶ。ラケットバドミントンの歴史・指導方法そして研究に関してその意義と現状との差異に関して集団で討論し、また、発展段階における問題点を明らかにして、体系的な指導方法に関してモデルの構築を行う。それを通じてコーチングと研究遂行する基礎的資質を身に着ける。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP9Q1	剣道コーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	金3 随時 金3.4		鍋山 隆弘、有田 祐二	研究論文作成のために必要な剣道の試合・審判・形(型)・指導法についての素養を身につける。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP9T1	舞踊論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	火4 火3.4	体育A415	平山 素子、寺山 由美	舞踊(ダンス)分野に関する国内・国外の文献、資料を中心に近年の舞踊論における研究の動向と諸問題について学習するとともに、舞踊論の研究手法論について理解を深める。さらに、研究対象を明確にするための考察を行う。	要相談			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP9T3	舞踊表現技術実習	2	1.0	1	春AB秋AB	木4 水2	ダンス場	平山 素子	コンテンポラリーダンスを扱う。呼吸、フロアを使ったムーヴメントやカウンターバランスなどの動きの理論を体験し、音楽、動きのコンセプトなど発想を広げる。個々が多様な身体表現の可能性を探る機会を促す。	要相談			体育学学位プログラム(博士前期課程)

系列科目(スポーツ文化・経営政策)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OAS0201	武道学	1	1.0	1・2	春AB	NT		酒井 利信	武道は日本の歴史の中で育まれてきた固有の運動文化であり、日本文化のアイデンティティを自覚するには必須の学習課題である。本授業では、特に刀剣思想を題材とし、東アジアを視野に入れた日本精神史としての武道を学ぶ。	オンライン(オンデマンド型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP101	スポーツ経営学	1	1.0	1	春A 春B	木2	5C307 5C413	清水 紀宏	体育・スポーツの推進に相応しいスポーツ経営の考え方、及び経営組織と事業運営について解説する。まず、各組織体のスポーツ経営に直接・間接的に多大な影響を及ぼすスポーツ関連法および国のスポーツ政策(スポーツ基本計画2000、スポーツ基本法2011、スポーツ基本計画2012等)について批判的に検討した上で、スポーツ経営の現代的課題とその解決に向けた経営方略を概説する。次に、スポーツ関連法及び政策の理解を基に、学校体育と地域スポーツが直面している経営課題を整理し、この領域におけるスポーツ事業や経営過程をめぐる実態と課題について検討する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP102	体育・スポーツ哲学	1	1.0	1	秋B	集中		深澤 浩洋	体育ならびにスポーツの概念、現状、背景となる思想・社会的状況について洞察する力を養うことを目指す。体育・スポーツ概念の鍵の一つである身体への捉え方や身体経験のめぐって、体育哲学とスポーツ哲学のそれぞれのスタンスから講義を行う。 スポーツに関しては、身体的契機、知的契機、感性的契機の三契機から、また、体育に関しては、関係性、重層性、超越性という三つの視点から論ずる。 こうした基本的な考え方を踏まえつつ、体育・スポーツに関する現代的特徴を取り上げ、哲学的に考察、ディスカッションする。	オンライン(対面併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP103	スポーツ史学	1	1.0	1	秋B	集中		大林 太郎、山口 拓	古代の人類が創り出した「スポーツ」の起源(ルーツ)を探り、また近代スポーツの誕生と発展の歴史の変遷を検討しつつ、史実を根拠とした現代の体育・スポーツ界における諸課題へのアプローチを試みる。体育・スポーツに関する歴史学および文化人類学、開発学の理論と実践的研究についても取り上げる。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATP105	スポーツ産業学	1	1.0	1・2	春AB	木4		仲澤 眞	レジャー・スポーツ産業を対象に人文・社会科学の視点から検討し、レジャー・スポーツ産業に関する基本的な知見を学習するとともに、当該領域における当面の問題を明らかにし、基本的研究課題を理解する。	オンライン(同時双方向型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP107	スポーツ政策学	1	1.0	1	春AB	水3	5C316	齋藤 健司, 成瀬和弥	スポーツ政策の現状と課題に対する理解を深めるとともに、スポーツ政策学の理論と視座を考える。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP110	フェアプレイ論	1	1.0	1・2	秋C	火5,6	5C301	深澤 浩洋	フェアネスの歴史的概観やフェアプレイを奨励する運動を踏まえ、フェアプレイが主張される意味について、複数の価値観、道徳観から考察する。また、フェアプレイを奨励する運動に言及する。実際にフェアプレイに徹するスポーツパーソンを養成するにはどうしたらよいか、どのようにフェアプレイ教育を展開していけばよいのかということについて考察し、自分なりの見解を論理的に展開できることを目標とする。 フェアネスの概念、スポーツのルールとエトス、フェアプレイの歴史、フェアプレイをめぐる問題の語られ方(個人と組織)、アンフェアの背景、フェアプレイキャンペーン、フェアプレイ奨励の方策、フェアプレイ教育の構想	対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP111	身体文化論	1	1.0	1・2	春C	集中		深澤 浩洋, 大林 太郎	伝統文化、体操、体育、スポーツなどを具体的に取り上げながら、文化的社会的に構築される身体と身体観について理解を深める。文化社会学、歴史学、哲学を基礎にしながら領域を越えて議論し、身体文化に対するアプローチを切り開く。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP113	スポーツ法学	1	1.0	1	秋AB	火3	5C316	齋藤 健司	スポーツに関する基本法令、判例、法制度及び法的諸問題について概説し、スポーツ法学に関する理論、スポーツ法の体系及びスポーツ法政策の基礎知識を学ぶ。 スポーツ法の体系、スポーツ基本法、スポーツ権、スポーツ仲裁法、アンチ・ドーピング法、体育に関係する法令、スポーツの知的財産権、スポーツ放送法、プロスポーツ関連法、スポーツビジネス関連法、選手契約などを解説し、議論する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP114	スポーツ行政学	1	1.0	1	春AB	月6	5C216	成瀬 和弥	行政学の視点から、日本のスポーツを検討し、中央政府や地方政府の組織、制度及び政策などについて、その基礎知識を学ぶ。日本のスポーツ行政過程の構造や機能について理解を深める。また、授業の後半(5回目以降)にはグループディスカッションを行う。グループごとに日本のスポーツ問題を検討し、仮説を設定してその問題を解決するための方策を立案する。グループごとに、その内容を発表し、他のグループとディスカッションを行う。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP115	スポーツビジネス論	1	1.0	1・2	秋AB	木4		仲澤 眞, 嵯峨 寿	(1)プロスポーツの運営や(2)スポーツメーカーのブランディング、(3)スポーツツーリズムなどを事例に、スポーツとビジネスの関係について理解を深めていく講義である。	対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP116	スポーツを通じた開発論	1	1.0	1	春AB	火3	GS1棟301	山口 拓	国際社会では、複雑に相互依存が深化する世界構造の下で、社会課題を改善するために、「地域・地球規模の連携」、「社会関係資本の構築」、「国際的課題の改善」を求める「スポーツを通じた開発」観は「開発と平和のためのスポーツ」行動が地球規模的に展開され始めている。 本講座では、国内外の課題を探し、その課題に対して採られる「スポーツを通じた開発」の事例を各専門領域の理論によって読み解くために議論を交わしながら検討する。 (1)既存研究によるケースの批評的検討(3回)、 (2)課題的検討(2回)、(3)方法的検討(2回)、 (4)実践的検討(3回)	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP117	スポーツメディア論	1	1.0	1・2	秋B	集中		清水 諭, 下竹 亮志, 有元 健	現代社会におけるスポーツイベントとメディアの親和性について、その歴史について学習し、映像メディアを介して表象化される人種、ジェンダー、ナショナルリティの諸問題について理解を深める。 1. スポーツイベントの成立構造について、スポーツの組織と連盟、メディア、資本主義企業、そして代理店の関係から説明することができるようにする。 2. 身体パフォーマンスをもとにした集会的想像力と表象、及びその文化政治について例をあげながら説明することができるようにする。 3. 人間とメディアとの関係について、歴史を踏まえて、例をあげながら説明することができるようにする。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP142	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4	5C407	齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頸部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	01EH439と同一。 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATP143	スポーツマーケティング論	1	1.0	1・2	春C	集中		醍醐 笑部, 清水 紀宏	スポーツマーケティングの目的、方法に関する基礎理論を理解するとともに、商業スポーツ施設経営やスポーツイベント経営など具体的なスポーツ経営を事例にした検討を通して、実践的な考え方を養う。	O1EH433と同一。 対面(オンライン併用型) 原則として対面で実施するが、場合によってはオンライン(オンデマンド型)を併用する。			体育学学位プログラム(博士前期課程)

系列科目(健康・スポーツ教育)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATP201	体育科学習指導論	1	1.0	1	秋AB	月2	5C212	長谷川 悦示	良質な体育授業を実施するために必要な学習指導上の種差能とそれを具体化していくために必要な教員の資質について模擬授業の立案計画と実施による直接的な実践体験を通して学習する。体育科教育に必要なとされる学習指導方針、学習指導過程、学習組織、学習指導モデルなど専門知識と技能について理解を深める。受講生は複数の授業者グループごとで、授業計画を立案し、教師役・生徒役・観察者を相互に役割分担して模擬授業を実施する。体育授業を分析する方法と授業を省察する能力の向上をねらって、受講生はe-Learningによる授業評価システムを用いてビデオ収録された授業映像を視聴しながら、観察分析データを参照して授業評価・省察を実施し、反省会ではそれをもとに討議する。第1～3回は指導案作成、第4～6回は模擬授業実施、第7回に中間反省会、第8～10回は修正案による模擬授業実施。第11回は最終反省会(最終課題の確認)を実施する。	専修免許の一括申請に必要な科目。春学期に受講希望者を対象にガイダンスを行うので、必ず出席するようにしてください 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP202	学校健康教育論	1	1.0	1	秋C	火1.2	5C212	片岡 千恵	本授業では、学校における健康および安全の課題について、教育的視点から論じる。具体的には、学校における健康教育の現状と課題について解説するとともに、性に関する指導、心の健康に関する指導、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育、がん教育、安全に関する教育等を取り上げ、その内容と方法について講義する。また、学校における健康教育の指導者として身に付けるべき資質・能力について概説する。本授業を通して、学校における健康教育の課題、考え方や進め方、教材づくりの実践等について、理解を深めることを目的とする。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP203	アダプテッド・スポーツ教育論	1	1.0	1	秋AB	月4	5C307	齊藤 まゆみ, 澤江 幸則	特別支援教育におけるアダプテッド・スポーツ教育について、特別支援教育の制度とアダプテッド・スポーツ、障害のある生徒とアダプテッド・スポーツ、インクルーシブ体育とアダプテッド・スポーツ、体育・スポーツにおける支援という視点から講述し、アダプテッド・スポーツの方法について「International Classification of Functioning, Disability and Health」の概念をもとに説明できること、発達障害のある子どもの実態を複合的に説明できること、発達障害のある子どもの支援に対して多面的にアイデアを出すことができることを目標としている。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP210	保健社会学	1	1.0	1	秋AB	金3		武田 文, 門間 貴史	健康の概念に関する医学モデルと社会モデルの各理論、健康づくり、健康増進および健康の社会的要因に関する基本パラダイムを学ぶ。また超少子高齢社会における公衆衛生の基本戦略、親子保健・老人保健の各領域における直近の健康課題とそれに対応する各種の法制度・政策・サービスの現状を理解する。	オンライン(オンデマンド型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP212	学校体育経営論	1	1.0	1	秋AB	木5	5C506	清水 紀宏	現在生じている学校体育及びその関連問題についての相互批判的議論を通じて、多角的で俯瞰的な視野をもつと共に、学校体育の総合的な経営理念や経営哲学を鍛える。具体的には、「学校体育における専門性とは何か」「学校体育における教育内容の選択原理は何か」「義務教育における自由化(競争原理の導入)の是非」等の本質的問いについて、ディベート形式の集団討議を通じて議論を深める。そして最終的には「学校体育経営の哲学の根幹となる『学校体育の存在意義』について批判的に考察し、各自の教育改革プランを構想する。	西暦偶数年度開講。 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP213	武道授業指導論	1	1.0	1	春AB	月1	柔道場, 剣道場	有田 祐二, 鍋山 隆弘, 岡田 弘隆, 増地 克之	学校における武道の指導法について検討し実習する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP215	運動学習心理学	1	1.0	1	秋AB	月4	5C301	國部 雅大	人間の運動学習(Motor Learning)と運動制御(Motor Control)について、知覚・運動統合の過程を中心に学ぶ。	対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP217	野外教育プログラム論	1	1.0	1	春AB	木2	5C316	渡邊 仁	本授業では、野外教育で展開される各種プログラムを多面的に理解し、野外教育プログラムを自ら計画・運営・評価する能力を高めることを目標とする。具体的には、各種プログラムの特徴・目的・指導法・安全管理等について理解を深めるとともに、プログラムの計画や運営する能力を高め、地域の様々な資源(自然環境、地域文化等)を生かしたプログラム開発に取り組む。授業の最終回には、グループワークとして、ある条件を満たした「野外教育プログラム」のプレゼンテーションが課される。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP218	野外教育指導論	1	1.0	1	春AB	火5	5C307	坂本 昭裕	野外教育プログラムであるキャンプ指導の特徴の一つは、グループをカウンセリングすることにある。本時では、1)アメリカにおけるセラピーキャンプを取り上げ、カウンセリングの理論について理解すること。2)キャンプカウンセリングの実際(VTR)を理解すること。3)キャンプを活用したカウンセリングの方法について理解すること。さらに、4)参加者のアセスメント方法について体験的(描画法)に理解することが目的である。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP219	体育授業観察分析法I	2	1.0	1	秋AB	随時		長谷川 悦示	体育授業の組織的観察法についての、そのねらい、手段、手順を学習し、この方法を用いて実際の体育授業を観察し分析し評価する能力を育成する。 学習目標:体育の学習指導を方向付けている様々な研究法や理論について理解する。また、実際の授業を観察し、そこに適用されている学習指導論を分析、評価することによって、基礎的な研究力を養う。	「体育科学習指導論」を履修中もしくは修得済みの者に限る。春学期に受講希望者を対象にガイダンスを行うので、必ず出席するようにしてください。 対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATP220	体育授業観察分析法II	2	1.0	1	秋AB	随時		齋藤 まゆみ、澤江 幸則	アダプテッド体育の視点をもった授業づくりのための理論を学び、特別支援学校や特別支援教育対象生徒が参加する体育授業を観察評価するとともに教材開発を行う。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP241	野外教育実習(キャンプ)	3	1.0	1	春BC 夏季休業中	随時集中		坂本 昭裕、渡邊 仁	本授業では、代表的な野外教育プログラムの形態である「組織キャンプ」について、自らその教育的価値を体験しながら、基本的な計画(事前授業)・運営(体実習)・評価(事後授業)の方法を実践的に学習する。具体的なプログラムや実習内容は、野外生活スキル、冒險教育プログラム、環境教育プログラム、キャンプマネジメント、キャンプカウンセリング、指導法、安全教育と安全管理、環境倫理、環境配慮スキル、サバイバル技術等を含んでいる。	対面 4泊5日の学外実習を行います。			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP242	舞踊授業指導論	1	1.0	1・2	秋AB	木2	5C316	寺山 由美	体育授業としての舞踊(ダンス)の授業(学習指導)における理論と実践方法について関連する文献と実践事例を基に検討するとともに、主な学習内容(創作系、リズム系、フォークダンス系)の特性を踏まえた指導計画を作成し検討していく。ダンスの特性、学習内容、指導計画、指導言語、学習評価などに着目し、舞踊の授業指導への理解を深める。それらの知見を基に、学習者と指導者の関係性から授業をどのように創造していくかを検討する。	西暦偶数年度開講。 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP301	体力学特講	1	1.0	1・2	春AB	金1	5C407	木塚 朝博、鍋倉賢治、小野 誠司、榎本 靖士	体力・運動能力に関する様々な概念や構成要素を復習し、発達加齢段階や各種レベルに応じた測定法、最新の解析法を解説することを通じて、運動遊び、エクササイズ、トレーニングなどが、健康体力や競技体力に及ぼす効果について学ぶ。	対面で実施したいが、状況によってはオンデマンドで実施する。 AT必修科目			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP107	スポーツ政策学	1	1.0	1	春AB	水3	5C316	齋藤 健司、成瀬和弥	スポーツ政策の現状と課題に対する理解を深めるとともに、スポーツ政策学の理論と視座を考える。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP114	スポーツ行政学	1	1.0	1	春AB	月6	5C216	成瀬 和弥	行政学の視点から、日本のスポーツを検討し、中央政府や地方政府の組織、制度及び政策などについて、その基礎知識を学ぶ。日本のスポーツ行政過程の構造や機能について理解を深める。また、授業の後半(5回目以降)にはグループディスカッションを行う。グループごとに日本のスポーツ問題を検討し、仮説を設定してその問題を解決するための方策を立案する。グループごとに、その内容を発表し、他のグループとディスカッションを行う。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP142	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4	5C407	齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康診断、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	01EH439と同一。 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP501	コーチングのバイオメカニクス	1	1.0	1	秋AB	月3	5C506	榎本 靖士	スポーツの技術やトレーニングを考えるための基礎となるバイオメカニクスの諸原則、動作の改善ループの考え方とその応用法、バイオメカニクスデータの解釈などについて解説し、これらの知識を動作の改善に活用するための基礎的能力を身につけることを学習目標とする。具体的には、スポーツ技術のバイオメカニクスのとらえ方、力学的エネルギー・効率・有効性指数の算出法の解説、選手の動きを評価・診断・改善するためのバイオメカニクスの知識の重要性の解説などを通して、客観的知識を基礎とするコーチングについて学習させる。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP502	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1	5C508	前村 公彦、谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間算定と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	OAS0203と同一。 (2023年度まで開講) 01EH621と同一。 AT必修科目。対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)
OATP506	スポーツ運動学	1	1.0	1	春AB	木2	5C508	中村 剛	発生運動学としてのスポーツ運動学の学問成立の経緯、基本概念、運動の分析法を講義して、運動の実現場および研究においてもスポーツ運動学の意義、価値の理解を深める。具体的には、体育・スポーツ領域において使われている運動の概念についての整理、運動をゲシュタルト(運動ゲシュタルト)として認識することの重要性、現場において取り上げられる動きの質の問題、実際の動きを取り上げる際に重要になる生命的な時空間の問題、そして、「できる」ということを考える際に不可欠な身体知の問題、その「できる」を支える「動感」の問題、動きの意味と価値の問題、スポーツ運動学と現象学の関係、などについて講義する。	AT必修科目。対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)

系列科目(ヘルスフィットネス)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OAS0202	健康増進学特講	1	1.0	1・2	春AB	NT		大藏 倫博	加齢に伴う生活機能の変化と健康との関連に基づき、健康増進(サクセスフルエイジング)に必要なトレーニング法、生活実践法などについて講義する。一般健康者、高齢者、有疾患者に対する運動処方についても講義する。学習目標は、中年期から高齢期までのヘルスプロモーションのあり方および加齢にともなう体力(生活機能)の低下と健康との関連について理解することである。特に、サクセスフルエイジング、元気長寿のための運動プログラム、中年期における体重管理の意義、健康におよぼす運動習慣化の効果、保健指導の問題点と健康支援の重要性、統計データから読み解く高齢者問題、生活機能、身体機能と介護予防の関係、認知機能と介護予防の関係、心理社会機能と介護予防の関係について学ぶ。	01EH550と同一。 オンライン(オンデマンド型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)



ニューロサイエンス学位プログラム(博士前期課程)

専門基礎科目(ニューロサイエンス学位プログラム:博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATF201	神経科学基礎論A	1	2.0	1	春A	応談		山田 一夫, 武井 陽介, 本城 咲季子, 鶴田 文志, 櫻井 勝康, 岩田 卓, 大石 陽, 齊藤 夕貴, Zhang Qi	指定の教科書に沿って、分子・細胞神経科学領域の基礎的内容についての講義をオムニバス方式で行う。4回の講義が終了することに、その内容についての疑問点や、関連文献の学習などからなる。Midterm及びFinalのReview/Discussionを担当教員及びTFが主導して行い、分子・細胞神経科学の基礎知識の十分な習得を促す。	必修 対面			ニューロサイエンス学位プログラム(博士前期課程)
OATF202	神経科学基礎論B	1	2.0	1	春A	応談		山田 洋, 國松 淳, 綾部 早穂, 小金澤 禎史, Lazarus Michael, 平野 有沙, 櫻井 武, 山本 慎也	指定の教科書に沿って、システム神経科学領域の基礎的内容についての講義をオムニバス方式で行う。4回の講義が終了することに、その内容についての疑問点や、関連文献の学習などからなる。Midterm及びFinalのReview/Discussionを担当教員及びTFが主導して行い、システム神経科学の基礎知識の十分な習得を促す。	必修 対面			ニューロサイエンス学位プログラム(博士前期課程)
OATF203	神経科学基礎論C	1	2.0	1	春B	応談		阿部 高志, 高橋 阿貴, 佐々木 哲也, 坂口 昌徳, 武田 裕司, 仲田 真理子, 片平 健太郎	指定の教科書に沿って、行動・認知神経科学領域の基礎的内容についての講義をオムニバス方式で行う。4回の講義が終了することに、その内容についての疑問点や、関連文献の学習などからなる。Midterm及びFinalのReview/Discussionを担当教員及びTFが主導して行い、行動・認知神経科学の基礎知識の十分な習得を促す。	必修 対面			ニューロサイエンス学位プログラム(博士前期課程)
OATF204	神経科学基礎論D	1	2.0	1	春B	応談		太田 深秀, 新井 哲明, 山中 克夫, 岡崎 慎治, 根本 清貴, 岩本 直, 三益 亜実, 櫻井 勝康, バスクアロト アキツレ	障害・臨床・支援の神経科学の領域の基礎的内容についての講義をオムニバス方式で行う。精神疾患や神経変性疾患といった臨床症状や発達障害などの障害および支援、高次脳機能について学び、障害・臨床・支援の神経科学の基礎知識の十分な習得を促す。	必修 対面			ニューロサイエンス学位プログラム(博士前期課程)

専門科目(ニューロサイエンス学位プログラム:博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OAS0402	神経科学先端セミナー1	1	1.0	1・2	通年	応談		高橋 阿貴, 櫻井 武, 坂口 昌徳, 武井 陽介, 山田 一夫, 山中 克夫	遺伝子、分子、細胞、組織、生理、システム、数理、行動、認知、応用、支援など、ニューロサイエンスの各領域の先端的研究について、担当教員が毎回ゲストとして招く研究者によるセミナー講演を通して学ぶ。最新の研究手法や理論についての知識を深めるとともに、講師とのインフォーマルディスカッションを通して、生命科学、行動科学、情報科学、社会科学を築くニューロサイエンスの醍醐味、面白さを学び、ヒトのこころの理解を目指す人間科学の研究者としての視野を広げる。	対面			ニューロサイエンス学位プログラム(博士前期課程)

スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)

スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATQ004	Anti-Doping (アンチ・ドーピング)	1	1.0	1	秋B	集中		渡部 厚一	スポーツ界におけるドーピングの歴史と規制や国際基準からなる世界アンチ・ドーピング機構によるアンチ・ドーピングプログラムの概要、日本で展開されているアンチ・ドーピングの全体像を紹介する。また、各国が行っているアンチ・ドーピングプログラムや近年生じているドーピング問題を題材として、スポーツのインテグリティやフェアネスに対する考え方を理解したうえで、国際比較などからアンチ・ドーピングプログラムが抱える課題やあるべき未来像を考察する。	英語で授業。 対面(オンライン併用型) Details will be announced by the instructor	△	授業担当教員の判断による	スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)
OATQ006	Sport and Diversity (スポーツとダイバーシティ)	1	1.0	1	春B	集中		清水 諭, 佐藤 貴弘	スポーツにおけるダイバーシティ(多様性)に関わるこれまでの課題について取り上げ、今後の共生社会のあり方をスポーツを軸に考えていく。具体的には、スポーツとジェンダーの問題、つまり女性のスポーツへの参加、スポーツ組織における主導的な立場についてやLGBTとスポーツについて学ぶ。また、障害者のスポーツについて学習し、理解を深める。具体的にはパラリンピックやパラリンピック以外の世界大会、また、障害(身体障害、知的障害、精神障害)の特性について、講義内で議論が可能と思われる事例を提示しながら学ぶ。	英語で授業。 対面(オンライン併用型) GS1302 or 301	△	授業担当教員の判断による	スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)
OATQ009	Gross-Cultural Communication (異文化コミュニケーション)	1	1.0	1	秋AB	金5		ラクワール ランディープ	In this course, students will learn the basics of cross-cultural communication in respect to the globalised university, and the future working environment they will face. Irrespective of your backgrounds, past affiliations and disciplines, the need will be to have good communication with people having diverse perspectives and personalities, and which is key for building relationships and success, and future careers. Expert Guest Speakers and practical workshops with expert communicators will be held. 4th Cross Cultural-Communication Batch students(Oct. 2023 enroll) : Register Fall AB	英語で授業。 対面、オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型) GS1302			スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)
OATQ010	Research Project Management (研究プロジェクト)	1	2.0	1	秋AB	金1,2		ラクワール ランディープ	このコースでは、プロジェクトの目的と目標に沿って、研究プロジェクトの管理、計画立案、概要構築を中心学習する。このコースは、スポーツとオリンピック研究のためのMAプログラムに記されている学習目標と結びついており、研究プロジェクトの準備、管理さらにはプロジェクト成功を実現するように導くことを目的とする。	英語で授業。 対面			スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)
OATQ209	Olympism and Legacy (オリンピックとレガシー)	1	1.0	1	秋AB	木3		深澤 浩洋	オリンピックとオリンピック・レガシーについて、それらの意義を学ぶとともに、今後の国や地域等に伝えたレガシーのあり方を考え、これからのオリンピック・レガシーについて構想することを通じてオリンピックを反映したレガシーに対する洞察力を持つことを目指す。 オリンピックの要諦を確認したのち、オリンピック・レガシーが普及されるようになった契機やその具体的な導入の経緯等を講ずる。それらを踏まえて、スポーツメガイメントの実態を調査し、レガシーの理念を反映したアクションを構想し、プレゼンテーションを行う。	英語で授業。 対面			スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)
OATQ215	Elite Sport Coaching (エリートスポーツコーチング論)	1	1.0	2	秋AB	集中		仙石 泰雄	一流競技者のパフォーマンス向上に関するコーチング、トレーニング理論及び方法を学び実践する。特に、高強度トレーニング、ファンクショナルトレーニングの処方箋に焦点をあて、様々な最新トレーニング用具を活用する方法について学習し、特定の運動種目を対象としたトレーニングプログラムを作成する。	英語で授業。 対面 GS1302			スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)

芸術学学位プログラム(博士前期課程)

基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATT011	西洋美術史-1	1	1.0	1・2	春AB	水2	5C404	武田 一文	西洋古代・中世美術史を中心に、イタリア・ルネサンスまでの作例に言及し、西洋美術史における宗教観、世界観と美術との関係を探る。	西暦偶数年度開講。 対面			芸術学学位プログラム (博士前期課程)
OATT012	西洋美術史-2	1	1.0	1・2	秋AB	水2	5C316	寺門 臨太郎	中世末期から近世の西洋美術について、代表的な作例をとりあげて多面多角的に講述する。	西暦偶数年度開講。 対面			芸術学学位プログラム (博士前期課程)
OATT052	美術技法論-2	1	1.0	1・2	春AB	水1	5C316	大原 央聡, 山本浩之, 宮坂 慎司, 川島 史也, 諏訪 智美	美術の表現方法について、歴史的、理論的に分析を行う。	西暦偶数年度開講。 対面			芸術学学位プログラム (博士前期課程)
OATT071	書鑑賞論	1	3.0	1・2	通年	水2	芸術 B539	菅野 智明	書の鑑賞・鑑定に対する基本的な知識を身に付けるとともに、書の鑑賞・鑑定をめぐる学術的方法について理解を深め、実践的な鑑賞力を培う。	西暦偶数年度開講。 対面			芸術学学位プログラム (博士前期課程)

専門科目【洋画領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATTC01	洋画技法論特講	1	1.0	1・2	春AB	木1	6A410-1, 6A410-3	仏山 輝美	西洋絵画を中心に、絵画の様式や技法と表現の連関について論じる。現代における絵画表現の意義と可能性、独自性について考える。	対面			芸術学学位プログラム (博士前期課程)

専門科目【総合造形領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATTJ01	現代アート表現論	1	1.0	1・2	秋AB	火2	5C205	小野 裕子	現代アートの知見を踏まえて、その動向を調査する。多領域の学生の意見を交えながら自身の研究と比較して、各自の研究に反映させていく。	オンライン(同時双方向型)			芸術学学位プログラム (博士前期課程)

専門科目【ビジュアルデザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATTL31	画像表現論特講	1	2.0	1・2	春AB	金5,6	6A203	山本 美希	大衆向け印刷表現(ポスター、風刺画、コミックストリップ、マンガ、絵本など)の特質、意義、課題について専門的な知識を身につける。	芸術学学位プログラムの学生に限る。 対面(オンライン併用型)			芸術学学位プログラム (博士前期課程)
OATTL41	画像表現演習	2	1.0	1・2	秋AB	集中	6A203		印刷表現の専門家養成のトレーニングとして、複数のテーマに沿った課題制作を行い、絵による高度な表現力・課題解決力を身につける。	芸術学学位プログラムの学生に限る。 対面(オンライン併用型)			芸術学学位プログラム (博士前期課程)



デザイン学学位プログラム(博士前期課程)

基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	
OATU001	デザイン学基礎論		1	2.0	1	春AB	金1.2	5C316	山田 協太, 小山 慎一, 花里 俊廣, 星野 准一, 山本 早里, 内山 俊朗, 山田 博之, 大友 邦子, 加藤 研, 岩木 直, 辻 泰岳, 伊藤 節, 索米垂, 布田 健, 平光 厚雄, 山口 秀樹, 木原 健, 近井 学	デザインはプロダクト、エンタテインメント、建築、空間、経験など、人間に関わるすべての対象を人のために設計するための枠組みである。本講義では、こうしたデザインの現状、方法、思想、歴史などについて概説し、デザイン学の基礎を学ぶ。	対面(オンライン併用型)			デザイン学学位プログラム(博士前期課程)

専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATU102	視覚情報デザイン論特講		1	2.0	1・2	秋AB	月4.5	5C407	小山 慎一	美しさ、見やすさ、誘目性など、デザインの問題の多くは視覚的な問題である。本科目では、講義を通じて、形態認知、色彩認知、審美、視覚的注意など、視覚の基礎知識を習得する。また、パッケージデザイン、プロダクトパッケージ、照明、建築物外観等、心理学的手法が実際の視覚情報デザインに活用された事例について、講義とディスカッションを行なう。さらに、プロジェクト型の学習を通して実際に実験・調査を行い、心理学的な実験・調査手法を習得する。	西暦偶数年度開講。要望があれば英語で授業。対面		デザイン学学位プログラム(博士前期課程)
OATU104	構成デザイン論特講		1	2.0	1・2	秋AB	木5.6	5C317	大友 邦子	デザイン制作に関わる形態の発想法と構造の仕組みの設計については、構成学の分野で様々な方法論が培われてきた。本講義では、図案表現、装飾、建築、プロダクト、ファッションをその実例として解説し、かたちを発想しデザイン展開に活用する力の習得をめざす。講義内容によってワークシート等の実践課題や、テーマについてのリサーチとディスカッションを行う。	西暦偶数年度開講。要望があれば英語で授業。実務経験教員。対面		デザイン学学位プログラム(博士前期課程)
OATU106	デザイン思考		1	2.0	1・2	春C夏季休業中	集中		内山 俊朗	デザインに関わる仕事をしていると「なぜそのようなユニークなものをつくることができるのか?」とクライアントに尋ねられることがよくある。また「自分には新しいものをつくる才能がなく創造力に自信がない」とデザインを学ぶ学生から相談を受けることもよくある。このような人たちが話をすると、デザインには生まれ持った才能が必要で、創造力は鍛えることができるという仮説が正しいケースが多いことに気がつく。プロダクトデザイン、インタラクションデザインの制作プロセスを通して、それらにはポイントやコツがあることについて解説をする。	教室:総合研究棟D211 西暦奇数年度開講。実務経験教員。対面		デザイン学学位プログラム(博士前期課程)
OATU107	デザインイノベーション特講		1	2.0	1・2	秋AB	金1.2	5C406	山田 博之	デザインにおけるイノベーションについて事例を通して学習し、プロジェクトマネジメントの視点からデザインを行うための視点と技術を養う。 また、ユーザーエクスペリエンスの向上のための具体的なワークショップと市場調査、それらのプレゼンテーションを行い、ユーザーにとっての価値とは何かについてのディスカッションを行う。	西暦偶数年度開講。実務経験教員。対面		デザイン学学位プログラム(博士前期課程)
OATU108	感性科学特講		1	2.0	1・2	秋AB	木4.5	総合D117	索米垂	デザインの対象を感性による表現および感性による受容と捉え、そのような現象の根源にあるこころの働きを分析的に捉えるために、感性情報学、感性工学、感性脳科学など様々な分野が広がった。これらの感性に関連する科学分野を紹介し、そして主観評価と生理指標を用いた客観評価を含め、具体的な研究方法について紹介する。	西暦奇数年度開講。実務経験教員。対面 英語と日本語両方で授業を行う。2025年度から開講。		デザイン学学位プログラム(博士前期課程)
OATU109	デザイン基礎特別演習		1	2.0	1	春AB	金5.6	5C206	内山 俊朗	主にデザイン以外の専門分野で学んできた学生を対象に、立体造形物の表示並びにプレゼンテーションについての演習を行う。デザインに関する課題・ディスカッションを通して、デザインのマインドセットを身につける。	実務経験教員。対面		デザイン学学位プログラム(博士前期課程)
OATU111	建築計画論特講		1	2.0	1・2	春AB	月5.6	5C615	花里 俊廣	建築計画学は、ビルディングタイプの学問と批判されて久しいが、近年では、新しい建物形式も生まれつつある。その背景には、こういった新しい建物を必要とする新しい機能についてのソフト面での展開がある。例えば、シェア居住の流れば、集合住宅には、それまでなかったような共用スペースを生むようになったし、病院では、以前には医療のための機械とも考えられ機能のみを求め計画されてきたが、医療自体の進歩に伴って患者やその家族にとっても快適な空間となることを求めて、新しい形態が現れている。近年の新しいビルディングタイプを計画するには、どのような新たな変化に対しどんな新しい建築が計画されていくかは、十分に整理されていない。このように本授業では、新しい建築のあり方を決定づけているこういった基本コンセプトを言説や図面、写真などから明らかにし、これらの生まれしてきた背景を探る。	西暦偶数年度開講。対面		デザイン学学位プログラム(博士前期課程)
OATU112	建築意匠論特講		1	2.0	1・2	春AB	火3.4	5C302	加藤 研	住宅論、建築論、都市論の視点から敷地周辺の環境や都市を観察し、その結果がどのように建築意匠に定着されるかについて、具体的な事例を取り上げて講述する。また、建築意匠論の実践として、受講生は各自で建築プロジェクトの提案を行う。提案は、任意で設定した敷地のコンテキストを分析した上で行うものとし、その場所で可能な建築意匠のあり方について学修する。授業の最後に、各自がまとめた建築プロジェクトの発表会と講評を行う。	西暦偶数年度開講。要望があれば英語で授業。実務経験教員。対面		デザイン学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATU115	建築史論		1	2.0	1・2	秋AB	木3,4	5C413	辻 泰岳	人の生を支える建築物は政治的かつ経済的の力をもちたちつくる。この点を念頭に置きながら、この授業では環境なるものがこれまでどのように論じられ、あらわされてきたかを講ずる。	西暦偶数年度開講。対面 対面を中心として一部オンライン(同時双方向型)を組み合わせて実施		デザイン学学位プログラム(博士前期課程)
OATU117	ブレイスメイキング論		1	1.0	1・2	秋B	火3,4	5C412	山田 協太	人が心地良く楽しいと感じる場をつくるブレイスメイキングの方法論は、都市・職場・住宅などの住環境の改善に向けた重要な手法である。場づくりを軸とした分野横断型の住環境プロジェクトについての解説とディスカッションを行う。講義を通じて、人を支える道具デザイン、基盤と枠組みをつくる街路や建築物の環境・建築デザイン、利用と運営を促進する情報デザインの条件、多様なデザイン分野の役割、共同方法、良好な場づくり手法を習得する。	西暦偶数年度開講。要望があれば英語で授業。実務経験教員。対面		デザイン学学位プログラム(博士前期課程)
OATU119	建築・都市フィールドデザイン論特講		1	1.0	1・2	秋A	火3,4	5C512	山田 協太	建築及び都市の実地に即したデザイン手法・原理・課題を、世界各地の建築および都市環境の具体例をつづいて学ぶ。そこで暮らす人々の生活スタイル、社会構造、自然・生態との関わりを考察の主要な視座とする。さらにそうした場所における新たな建築・環境の設計の可能性について議論を行うとともに各自独自の調査を行い、その結果をもとに建築・環境の具体的なデザイン提案を行う。建築・環境のデザイン提案を発表し、講評することをつづいて学修成果を客観的に省察し、建築及び都市の実地に即したデザインの知識を深め、技能を身に付ける。	西暦偶数年度開講。要望があれば英語で授業。対面		デザイン学学位プログラム(博士前期課程)
OATU125	ヒューマンコンピュータインタラクション特講		1	1.0	1・2	春C夏季休業中	集中		川口 一画	情報化が進んだ現代において、人間は日々パーソナルコンピュータやスマートフォン、スマートスピーカー等、様々な場面で情報機器とインタラクションを行う。本授業では、情報機器とのインタラクションに用いられる多様なインタフェースに関する研究事例を紹介した後、システムのプロトタイプング、およびその評価方法について、演習形式で学習を行う。	西暦奇数年度開講。対面		デザイン学学位プログラム(博士前期課程)
OATU142	インターナショナルジャーナルクラブA		2	1.0	1・2	秋AB	月2	総合D117	索米亜	科学研究に欠かせない統計解析の知識や、学術論文に対する情報収集能力、読解力、ディスカッション能力、クリティカル思考の向上を目指す。自らデザイン、感性、UXやHCIなど様々な領域に関連する研究論文を探して読解し、英語によるプレゼンテーションを行い、解説とディスカッションを通して学術研究への理解を深める。	実務経験教員。対面 英語と日本語両方で授業を行う。		デザイン学学位プログラム(博士前期課程)
OATU143	インターナショナルジャーナルクラブB		2	1.0	1・2	秋AB	月2	総合D117	索米亜	科学研究に欠かせない統計解析の知識や、学術論文に対する情報収集能力、読解力、ディスカッション能力、クリティカル思考の向上を目指す。自らデザイン、感性、UXやHCIなど様々な領域に関連する研究論文を探して読解し、英語によるプレゼンテーションを行い、解説とディスカッションを通して学術研究への理解を深める。	実務経験教員。対面 英語と日本語両方で授業を行う。		デザイン学学位プログラム(博士前期課程)

世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)

選択科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATV101	文化遺産論	1	1.0	1・2	秋AB	木2	人社 B218	下田 一太	文化遺産の保護について、遺産の概念、保護の理念、日本及び諸外国の保護制度の概要、さらにそれらの現在に至る歴史的経緯の理解を通して、現代社会における役割、その現状と今後について考察する。履修する大学院生は、文化遺産保護の理念と制度を理解するだけではなく、現代社会における文化財保護についてのディスカッションに参加し、意見を述べるができるようになることが求められる。	対面(オンライン併用型)			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)
OATV103	自然遺産論	1	1.0	1・2	春AB	集中	人社 B218	飯田 義彦, 吉田 正人	自然遺産保全の基礎となる自然保護、生物多様性保全を学ぶとともに、自然遺産と関連する保護地域制度と自然遺産との関連性についても考究する。とりわけ、世界自然遺産の登録基準、世界自然遺産のセーフティネットとしての危機遺産リスト、外来種や気候変動のモニタリング、保護地域のネットワークと国境を超えた世界遺産などの事例を考察する。				世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)
OATV106	無形遺産論	1	1.0	1・2	春C	集中	人社 B218	池田 真利子	日常生活に必須の「着」の無形遺産に関する多様な研究視点に触れ、無形遺産への理解を深めるとともに、無形遺産が持つ文化・経済・社会的価値について考察する。なお、参考として2023年度は結城絨の研究に取り組みれていた湯澤博子先生(法政大学)を講師にお招きし、2024年1月23日~1月25日の間の3日間、集中講義の形式で実施した。  参考) 2023年度無形遺産論 1日目(1月23日・火)講義 無形文化遺産から考える在来的経済発展論 2日目(1月24日・水)講義 無形文化遺産の新展開としての「食文化」 3日目(1月25日・木)フィールドトリップ(結城絨の見学と体験)	日本語運用能力があることが望ましい。 非常勤講師: 宮田繁幸, 石村智 対面(オンライン併用型) オンライン(同時双方向型) 2024年度は対面講義を予定する。			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)
OATV301	建築遺産論	1	1.0	1・2	春AB	木3	人社 B218	下田 一太	多様な歴史的背景や環境条件、意匠的特徴や利用可能な材料の特性に根差した建築遺産の理解、分析、調査、記述の方法と視覚化、評価の方法を学び、そうした歴史的建造物の意義や価値を保存・継承するための修理や復元の理念と技術、それらを伝達するための整備や再生の幅広い手法や技術について、国内外の世界文化遺産を含む建築遺産を事例として理解する。授業を通じて、各自が関心を有する建築遺産に対して、必要とされる調査を実践的に適用するための知識を習得し、保存や活用のための具体的な提案ができるようになることを到達目標とする。	対面(オンライン併用型)			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)
OATV303	美術遺産論I	1	1.0	1・2	春AB	火3	人社 B218	八木 春生	講義形式(学内)。中国で世界遺産に認定された雲岡石窟や龍門石窟を対象とする。この授業では、その中でも北魏時代(439年から534年)に開かれた石窟を取り上げる。窟形式や造像の様式、形式、また文様などの要素を様々な角度から分析し、それを総合的に考察することで評価を行う。それぞれの石窟がいかなる目的のために、ましかなる人々のために開かれたか、そのためにいかなる工夫がなされたかを明らかにする。そしてこの作業から抽出される、それぞれの石窟の特殊性に基づき、それに適した石窟の保存を考える能力を養成する。これにより、中国北魏時代の代表的な石窟に関する基礎的な知識を有し、その評価を基盤として活用など保護の方法を自らの研究と関連してできるようになる。	対面、オンライン(オンデマンド型)			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)
OATV304	美術遺産論II	1	1.0	1・2	秋AB	火3	人社 B218	八木 春生	講義形式(学内)。中国で世界遺産に認定された敦煌莫高窟、龍門石窟などの、唐時代前期(618年から655年)に開かれた石窟を取り上げる。窟形式や造像の様式、形式、また文様などの要素を様々な角度から分析し、それを総合的に考察することで、これらの石窟の評価を行う。敦煌莫高窟唐前期諸窟や、龍門石窟唐前期諸窟のほとんどは、北魏時代に国家により開かれた雲岡石窟と異なり、民間による運営である。佛道教が流行したこの時期に、人々がいかなる目的を持って造窟し、またそれらの人々の要求を満足させるためにどのような工夫がなされたかを考察する。そしてこの作業から抽出される、それぞれの石窟の特殊性に基づき、それに適した石窟の保存を考える能力を養成する。これにより、唐時代前期の代表的な石窟に関する基礎的な知識を有し、その評価を基盤として活用など保護の方法を自らの研究と関連してできるようになる。	対面、オンライン(オンデマンド型)			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)
OATV306	保存科学概論	1	1.0	1・2	春C	木4.5	人社 B218	松井 敏也	保存科学の沿革・保存科学技術のあり方・研究方法を論じ、保存修復事例をもとに文化財を取り巻く保存環境・劣化現象の解明、その保存対策の手法について解説する。それにより、遺産や美術品の劣化や損傷に対し、その診断手法の確立、ならびに診断結果に対する総合的評価を立地環境と担当者のスキルなどと併せて考慮する視野を構築することを旨とする。実践的処置技術については今後の社会及び環境変動を見据えた課題の抽出とその解決法を科学的に行う能力を習得する。	対面			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)
OATV401	遺産整備計画論	1	1.0	1・2	春A	月4.5	人社 B218	上北 恭史	遺産の歴史的価値を評価し、遺産の保存手法、環境整備等について論じ、社会的保護制度や遺跡、建造物の保存手法、地域再生事業などの活用計画について考究する。教育の目標として文化遺産を中心に、保護制度と遺産価値の理解を通して適切な保護の方法と利活用の手法について計画し、事業を遂行するための基本的考え方を学ぶ。授業の到達目標として、遺産保護制度の法令の理解および保護計画事例を把握し、遺産の持つ歴史的・社会的価値を評価する能力、需要に適した活用方法の提案ができる能力を身につける。また遺産の復元の問題や国際協力事例について事例を基に議論し、遺産を活かした地域再生について対応できる人材の育成を重視する。	対面			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATV403	文化的景観論	1	1.0	1・2	春AB	火4	人社B218	黒田 乃生	遺産としては比較的新しい概念である文化的景観について、景観の概念の変遷、世界遺産における文化的景観をめぐる議論と現状、日本の文化財における文化的景観の定義と保護、景観と社会の関係などの基礎的な知識の習得に加え文化的景観の評価および保全に関する事例を紹介する。講義全体を通して他の文化遺産と文化的景観の特徴の異同を考究するための緒を与え、保全や概念について国内外の相違を紹介し、履修生とのディスカッションを通して文化的景観の曖昧さや保護の課題について自ら考えることができるようにする。	対面、オンライン(同時双方向型)			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)
OATV404	遺産観光論	1	1.0	1・2	秋AB	月4	人社B218	伊藤 弘	観光に関する用語や意義、歴史的かつ現状の課題および計画論等に関して概説を行うと同時に、観光の対象となる文化資源や自然環境について、世界遺産や指定文化財、自然公園など制度上の評価に捉われない評価の考え方を整理する。利用と保護が持続的に同時に求められる、自然および文化を活かし続ける観光のあり方や取り組み手法、それに基づく観光地整備の考え方について、具体の事例を取り上げながら、その効果と課題を踏まえて考察する。	対面			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)

ヒューマン・ケア科学学位プログラム(3年制博士課程)

専門基礎科目(ヒューマン・ケア科学学位プログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OBTJ001	ヒューマン・ケア科学特論I	1	1.0	1・2	春A	集中		水野 雅之, 杉江 征, 松田 侑子	対人援助にかかわる諸問題を、さまざまな学問分野から交叉的かつ体系的に把握し、基礎的な知識および研究方法を学ぶ。すなわち、対人援助の基本として対象の対人的理解、援助方法の策定と介入、そして対象の置かれている状況の社会的制度的理解と援助について、発達臨床心理学、臨床心理学の分野から論じるとともに、研究法を概説する	4/27, 4/28 オンライン(オンデマンド型) 必修。原則としてオンライン(オンデマンド型)で実施する。各担当教員により、実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する。令和元年度までの「02EU004 ヒューマン・ケア科学方法論I」に対応する			ヒューマン・ケア科学学位プログラム(3年制博士課程)
OBTJ002	ヒューマン・ケア科学特論II	1	1.0	1・2	春C秋A	集中		濱口 佳和, 森田 展彰, 大谷 保和	対人援助にかかわる諸問題を、さまざまな学問分野から交叉的かつ体系的に把握し、基礎的な知識および研究方法を学ぶ。すなわち、対人援助の基本として対象の対人的理解、援助方法の策定と介入、そして対象の置かれている状況の社会的制度的理解と援助について、社会精神保健学、発達臨床心理学の分野から論じるとともに、研究法を解説する	7/13, 7/14, 11/6 オンライン(オンデマンド型) 必修。原則としてオンライン(オンデマンド型)で実施する。各担当教員により、実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する。11/6はFD講演会・博士論文中間審査会。令和元年度までの「02EU001 ヒューマン・ケア科学基礎論I」に対応する			ヒューマン・ケア科学学位プログラム(3年制博士課程)
OBTJ003	ヒューマン・ケア科学特論III	1	1.0	1・2	秋AC	集中		橋爪 祐美, 水上 勝義, 河野 禎之	対人援助にかかわる諸問題を、さまざまな学問分野から交叉的かつ体系的に把握し、基礎的な知識および研究方法を学ぶ。すなわち、対人援助の基本として対象の対人的理解、援助方法の策定と介入、そして対象の置かれている状況の社会的制度的理解と援助について、ストレスマネジメント、高齢者ケアリング学、共生教育学の分野から論じるとともに、研究法を解説する	11/9, 11/10, 2/15 オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型) 必修。原則としてオンライン(オンデマンド型)で実施する。各担当教員により、実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する。2/15はFD講演会・博士論文成果発表会。令和元年度までの「02EU005 ヒューマン・ケア科学方法論II」に対応する			ヒューマン・ケア科学学位プログラム(3年制博士課程)

パブリックヘルス学位プログラム(3年制博士課程)

専門基礎科目(ヒューマン・ケア科学学位プログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OBTk001	パブリックヘルス特論 I	1	1.0	1・2	春B	集中		市川 政雄, 近藤 正英, 堀 愛, 富尾 淳, 横山 徹爾	公衆衛生学は学際的な領域であるため、健康問題の要因とその解決・支援方法、それに係る社会的制度等について、基本分野に加えてさまざまな関連分野から、基礎的知識と研究方法を習得する必要がある。そこで本科目では、公衆衛生の基本分野と関連分野から、国際保健学、健康危機管理学、保健医療政策学について論じるとともに研究法を解説する	6/1, 6/2 オンライン(オンデマンド型) 必修。原則としてオンライン(オンデマンド型)で実施する。各担当教員により、実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する。令和元年度までの「02EU006 ヒューマン・ケア科学方法論111」に対応する			パブリックヘルス学位プログラム(3年制博士課程)
OBTk002	パブリックヘルス特論 II	1	1.0	1・2	夏季休業 中秋A	集中		武田 文, 大蔵 倫博, 麻見 直美, 門間 貴史, 片岡 千恵, 辻 大士, 伊藤 智子, 中田 由夫	公衆衛生学は学際的な領域であるため、健康問題の要因とその解決・支援方法、それに係る社会的制度等について、基本分野に加えてさまざまな関連分野から、基礎的知識と研究方法を習得する必要がある。そこで本科目では、公衆衛生の基本分野と関連分野から、健康社会学、生涯健康学、運動・栄養学について論じるとともに研究法を解説する	9/28, 9/29, 11/6 オンライン(オンデマンド型) 必修。原則としてオンライン(オンデマンド型)で実施する。各担当教員により、実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する。11/6はFD講演会・博士論文中間審査会。令和元年度までの「02EU002 ヒューマン・ケア科学基礎論111」に対応する			パブリックヘルス学位プログラム(3年制博士課程)
OBTk003	パブリックヘルス特論 III	1	1.0	1・2	秋BC	集中		渡邊 多永子, 田宮 菜奈子, 牛山 明, 杉山 雄大, 山岸 良匡	公衆衛生学は学際的な領域であるため、健康問題の要因とその解決・支援方法、それに係る社会的制度等について、基本分野に加えてさまざまな関連分野から、基礎的知識と研究方法を習得する必要がある。そこで本科目では、公衆衛生の基本分野と関連分野から、生活環境学、ヘルスサービスマネジメントについて論じるとともに研究法について解説する	11/30, 12/1, 2/15 オンライン(オンデマンド型) 必修。原則としてオンライン(オンデマンド型)で実施する。各担当教員により、実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する。2/15はFD講演会・博士論文成果発表会。令和元年度までの「02EU003 ヒューマン・ケア科学基礎論111」に対応する			パブリックヘルス学位プログラム(3年制博士課程)